

取扱い方法 DM-7F-7-B2

使用帯域 (10~2150MHz)

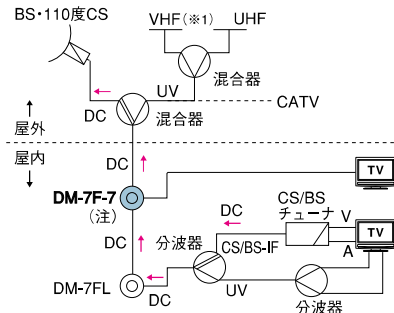


DM-7F-7-B2

屋内用

簡易直列ユニット (中間用)

■使用例



通電容量はDC15V・0.8A以下またはAC30V・1A以下です。

(注) この製品はTV端子から通電することはできません。

(※1) VHFアンテナは、地上デジタル放送のみ受信する場合や、地上アナログ放送終了後は必要ありません。

■使用上のご注意

- 入力・出力端子間は通電仕様です。途中には通電形機器以外は挿入しないでください。また、必ず通電容量内でご使用ください。
 - 接続する同軸ケーブルは、正しい寸法で加工し、心線と編組を接触させないでください。
- ※詳しい取扱方法は、この台紙の内側に印刷していますのでよく読んでご使用ください。

土壌汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質や人体に悪影響を及ぼす物質を使用しない事など厳しい自社基準をクリアした製品にECOマークを表示しています。



T 4975584104252

お問い合わせはカスタマーセンターまたはホームページをご利用ください。

カスタマーセンター TEL (078) 682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00
ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

DXアンテナ株式会社

本社 / 〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL (078) 682-0001 (代)



③

未来へ、環境負荷ゼロへ

【使用できる放送】

CS BS UHF FM VHF

中間用 入力・出力端子間通電形 簡易直列ユニット

テレビ電波の取り出し口として使います。

兼用タイプ
壁面露出／埋込み

後付けに
便利!!

取扱い方法 DM-7F-7-B2

■安全上のご注意

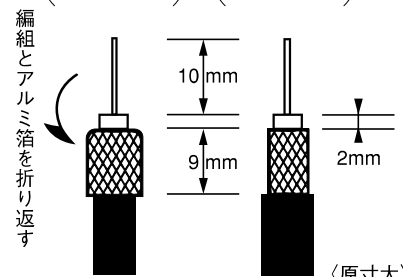
⚠ 警告

- 屋内専用。屋外や高温になる場所を避けること。水などでぬらさないこと。火災・感電や破損の原因となります。
- 途中には通電形機器以外を挿入しないこと。また、同軸ケーブルの接続などで心線と編組が接触したり、ケーブルを傷つけないこと。火災・感電の原因になります。
- 異常が生じたら、接続している製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、手を触れないこと。感電の原因となります。

※“DM-7F-7-B2”の末尾“B2”は包装形態を示しています。製品本体の表示は“DM-7F-7”です。

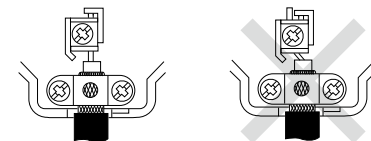
■同軸ケーブルの加工方法

(4C相当) (5C相当)
同軸ケーブル 同軸ケーブル



- ケーブルの先端加工の際、心線に傷がついたり、心線と編組が接触することのないようご注意ください。
- CS/BS放送 (1032~2150MHz) を受信する場合には、同軸ケーブルはS-5C-FBまたはBS-CDXなど低損失のケーブルをご使用ください。

■ユニットの接続方法

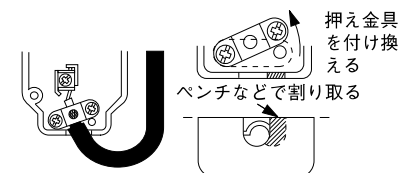
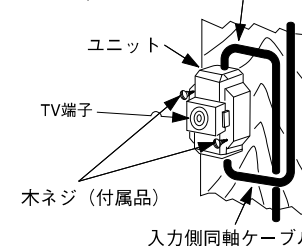


- 心線と編組を図のようにはさみ込みネジで締め付けてください。
- ※同軸ケーブルの心線が端子からはみ出さないようご注意ください。

■取付方法

- 図のようにケーブルをユニットに巻きつけるようにしながらボックスまたは板壁に取り付けてください。

〈板壁の場合〉 出力側同軸ケーブル



同軸ケーブルを小さく曲げて引き廻す場合は図のように押え金具を付け換え、ケースの薄い部分を割取ってください。

- 市販の埋込取付枠を用いてアウトレットボックスなど埋込式で取り付けることもできます。
- ※TV端子の接続には別売のテレビコンセントプラグ (HP-7Aなど) をご使用ください。